資料2

中部様式1

平成29年度　地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

豊山町地域公共交通会議

平成２２年５月１１日設置

平成２９年８月１８日
地域間幹線系統への位置付け申し出路線に係る生活交通確保計画策定

1.協議会が目指す地域公共交通の姿

●地域の特性と背景

・名古屋市中心部から10km圏内。名古屋市のベッドタウン。

・面積は約6km²（県内最小）で約1/3が県営名古屋空港関連用地

・名古屋中央卸売市場北部市場、エアポートウォーク、三菱重工業㈱小牧南工場等大規模施設が立地。

・住宅地や各種施設がコンパクトにまとまった構造。

・幹線道路網は充実しているものの鉄軌道はなく、バス交通による公共交通網を形成。

・名古屋空港利用者増、MRJ生産・整備拠点事業の進展、あいち航空ミュージアム建設などにより交通需要は増加 見込み。

●豊山町地域公共交通網形成計画

・計画の目標：自動車に頼らなくても、誰もが、安全・安心で便利に、行きたい所に行ける地域公共交通の実現。

・具体的数値目標（カッコ内は平成25年度値）

○公共交通に対する住民満足度20.0%（14.1%）

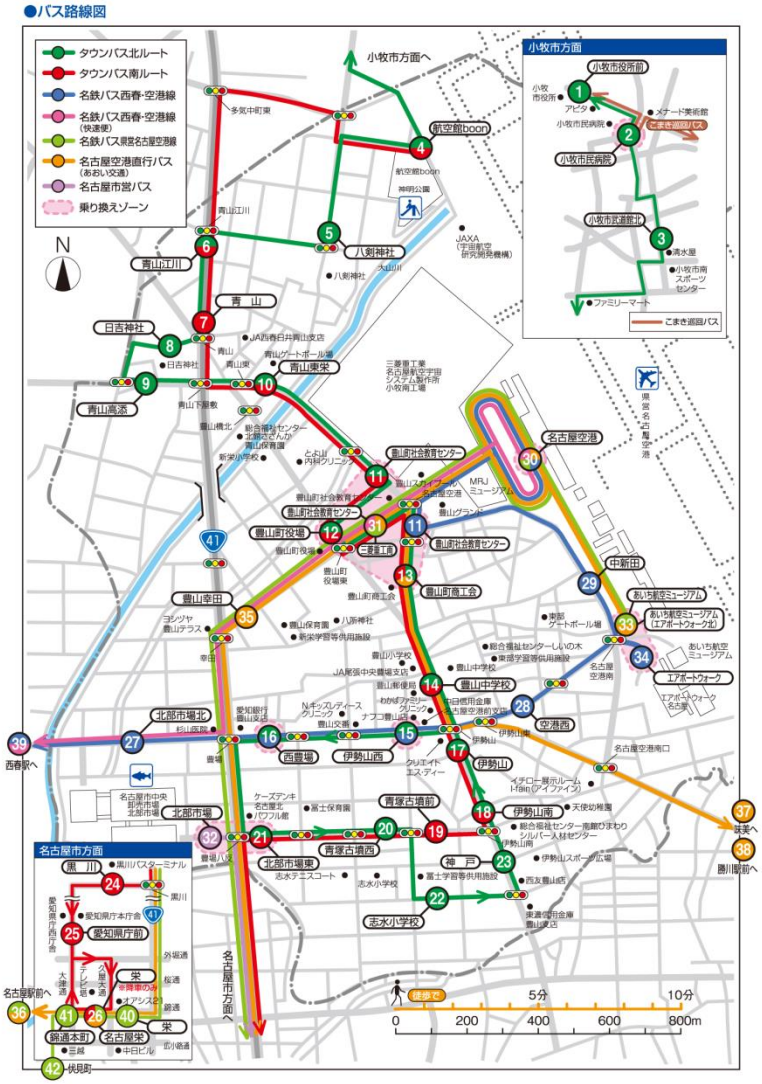
○バス停勢圏人口カバー率95.0%（91.9%）、

○とよやまタウンバス年間利用者数94,000人（74,990人）

○とよやまタウンバス運行負担率50.0%（60.5%）

・計画の期間：平成27年度～平成31年度の5年間

公共交通ネットワーク概要図



●公共交通網評価の基本的考え方

町民討議での議論を通じて、住民・利用者の評価・意向を把握し、必要に応じて追加調査を実施。

●評価指標及び評価基準

豊山町地域公共交通網形成計画で記載した数値目標の達成度合いにより行う。

目標指標	目標値	現状値（平成25年度）
①公共交通に対する住民満足度	２０．０%	１４．１%
②バス停勢圏人口カバー率	９５．０%	９１．９%
③とよやまタウンバス年間利用者数	９４，０００人	７４，９９０人
④とよやまタウンバスの運行負担率	５０．０%	６０．５%

3.目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

●網形成計画に位置付けられている事業のうち主なもの

・町内６路線の公共交通マップの更新・作成と新規転入者等への配布（平成２９年４月、１２月）

・公共交通マップの更新内容に応じた町ホームページ等のコンテンツ更新（随時実施）

・とよやまタウンバスの運行情報等に係るコンテンツプロバイダの乗り換え案内検索サービスへの提供を実施（随時実施）

・とよやまタウンバスへのバスロケーションシステム運用開始（平成２９年４月～）

・とよやまタウンバス車内及び主要バス停におけるwi-fi環境の共用開始（平成２９年４月～）

・県営名古屋空港とその周辺における交通需要の増大を背景とした県営名古屋空港へのアクセス強化・拡充

①名鉄バスによる県営名古屋空港線の新設（平成２９年１０月運行開始。同１１月にあいち航空ミュージアムまで延伸）

②あおい交通による空港直行バスの拡充（平成２９年１１月）

③名古屋市バス延伸の社会実験（平成２９年３月）及びその影響調査（平成２９年２月～９月）

●これまで実施してきた主な事業

・平成14年9月の名鉄バス名犬バイパス線の廃止に伴い、同年10月から、町主体で「とよやまタウンバス」の運行開始。

・19年度から地域公共交通会議を設置し、民間バス事業者と連携・調整しつつ、地域公共交通環境の向上に努めてきた。

・平成23年3月、地域公共交通活性化再生法に基づく地域公共交通総合連携計画策定（計画期間：H23年度～26年度）。

・平成27年3月、地域公共交通総合連携計画を、改正地域公共交通活性化再生法に基づき改定し、「地域公共交通網形成計画」を策定。周辺市との連携を考慮しつつ、徒歩・自転車・鉄道・路線バス・タクシー・自家用車等の全ての交通手段を一体的なネットワークとして捉え、町が目指す「小さくてキラリと輝くまちづくり」の実現を支えるため取組を推進している。

とよやまタウンバスの利用者数

	平成28年10月より 平成29年9月まで	平成27年10月より 平成28年9月まで	目　標　値
全　　体	７４，８４３人 （前年度比4.6%減）	７８，４７４人 （前年度比0.1%減）	９４，０００人 ※地域公共交通網形成計画の31年度の目標値
南ルート ※幹線系統	６５，８６１人 （前年度比3.6%減）	６８，３０３人 （前年度比5%減）	６６，０００人 ※生活交通確保計画の28年度の目標値

・全体、幹線系統に位置付けられている南ルートとも減少。

・南ルートは、生活交通確保計画の目標値にわずかながら及ばなかった。

【参考】

項目	平成28年度 （平成28年4月～平成29年3月）	平成27年度 （平成27年4月～平成28年3月）	網計画の目標値
利用者数	７６，１８７人 （前年度比4.3%減）	７９，５８９人 （前年度比2.4%減）	９４，０００人
運行負担率	４８．１%	４７．８%	５０%

・平成26年度までは、順調に利用者が増加してきたが、平成27年度から減少に転じている。他の路線も含めた豊山町全体のネットワークを勘案しタウンバスのあり方を検討する必要がある。

・運行負担率は、前年度より悪化しているものの地域公共交通網形成計画での目標はクリアしている。

・あおい交通による名古屋空港直行バスの利用者数は529,665人で前年度（446,962人）に比べて約18.5%の増加、幸田・勝川線の利用者数は66,170人で前年度（62,019人）に比べて約6.7%の増加。

	平成28年度 （平成28年4月～平成29年3月）	平成27年度 （平成27年4月～平成28年3月）
名古屋空港直行バス	５２９，６６５人 （前年度比18.5%増）	４４６，９６２人 （前年度比29.6%増）
幸田・勝川線	６６，１７０人 （前年度比6.7%増）	６２，０１９人 （前年度比38.3%増）

・名鉄バスによる西春・空港線の利用者数は744,575人で前年度（734,018人）に比べて約1.4%の増加。

平成28年度 （平成28年4月～平成29年3月）	平成27年度 （平成27年4月～平成28年3月）
７４４，５７５人 （前年度比1.4%増）	７３４，０１８人 （前年度比9.6%増）

5.自己評価から得られた課題と対応方針

①　目標の達成状況に関する課題

・とよやまタウンバスの利用者数（平成28年10月～平成29年9月）は74,843人で前年度に比べて約4.6%減少。そのうち南ルートについては、65,861人（前年度比約3.6%減）となった。生活交通確保計画の目標数66,000人もわずかに達成できなかった。微減であるが、推移を見守る必要がある。

・一方、北ルートは、8,982人（前年度比約11.7%減）と減少した。これまでの減少傾向に歯止めがかかっていない状況がある。

②　公共交通ネットワークに対する課題

・本町では、県営名古屋空港利用者の増加、ＭＲＪ生産・整備拠点事業の進展やあいち航空ミュージアムが平成29年11月末にオープンするなど町内外の人の流れが大きく変わることとなる。これらに対応するため、名古屋市や名鉄バス、あおい交通に対し、平成27年7月、名古屋商工会議所・県等とともにアクセス強化の要望を行った。それを受け北部市場まで乗り入れている名古屋市営バス路線を空港まで延伸した場合の需要や運行上の課題、利用者の意向、本町内のバスネットワークへの影響などを把握するため、名古屋市交通局と本町が連携して平成29年3月の1ヶ月間社会実験を実施した。

課題への対応方針

・バスに対する町民のニーズや期待は大きく、今後、利用者を増やして目標を達成するためには、運行本数やルート、待合環境などを改善していくことが重要となっている。

・今後の公共交通網をどのような形にしていくのが最善なのかを調査・研究するとともに、国・県・周辺自治体・バス運行事業者等の理解と協力を得ながら、地域公共交通会議での議論を深めていく必要がある。

中部様式2

平成29年度　地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

豊山町市地域公共交通会議

平成２２年５月１１日設置

直近の第三者評価委員会における事業評価結果	事業評価結果の反映状況（具体的対応内容）	今後の対応方針
名古屋空港周辺の需要への対応を周辺自治体やバス・タクシーの関係事業者と十分な協議と理解を得ながらより最善な地域公共交通ネットワークの構築に期待します。	平成29年3月の市バス延伸社会実験に伴い、ネットワークに与える影響調査を実施。公共交通会議での評価を経て、豊山町長より名古屋市長に本格実施の要請（平成30年2月）。 名鉄バスが県営名古屋空港線を新設（平成29年10月）し、あいち航空ミュージアムまで延伸（同年11月）。あおい交通が、あいち航空ミュージアムの開館に合わせ、新規路線の設置・既存路線の拡充を実施（平成29年11月）。	今後とも、周辺自治体やバス・タクシーの関係事業者と連携・協力して地域公共交通ネットワークの充実を図っていく。

2.アピールポイント

- 　取組に当たっては、地域公共交通利用実態調査や町民討議会議などを通じて得られた公共交通に対する町民のニーズをできるだけ反映するようにした。
- 　公共交通マップについては、とよやまタウンバス、名鉄バス西春・空港線や新規路線の県営名古屋空港線、あおい交通の名古屋空港直行バスや幸田・勝川線の基本的な情報を掲載し、ダイヤ改正にも適宜対応している。また、バス利用者の使い勝手を考慮し、とよやまタウンバスの運行情報等について、スマートフォン向けのホームページコンテンツの更新・作成やコンテンツプロバイダの乗り換え案内検索サービスへの掲載に取り組んでいる。
- 　また、ＭＲＪの生産・整備の本格化や、あいち航空ミュージアムの開館に伴い、町外からのビジネス客や見学客等が新たに増加することも想定されることから、名古屋市交通局や名鉄バス、あおい交通に対し、平成２７年７月に愛知県、春日井市、小牧市、経済団体とともに県営名古屋空港へのアクセス強化の要請を行いました。
- これらを受けて平成２９年３月の１箇月間、北部市場まで乗り入れている名古屋市営バスの県営名古屋空港への延伸社会実験とその影響調査を実施しました。地域公共交通会議での社会実験の評価を経て、本町として、名古屋市に市営バスの県営名古屋空港への乗り入れに係る要請を平成３０年２月に行っております。
- 名鉄バスは、平成２９年１０月に新たに県営名古屋空港線の運行を開始し、平成２９年１１月のあいち航空ミュージアムの開館に合わせ延伸しています。
- あおい交通は、平成２９年１１月にあいち航空ミュージアムの開館に合わせ、新規路線の設置・既存路線の拡充等を行っています。
- 豊山町では、公共交通会議を中心に、今後の豊山町の公共交通をどのような形にしていくのか、国・県・バス・タクシー関係事業者・町民と連携・協力して取り組んでいます。